

# 紅葉会イン広野

# 双風

## 臨時版

## ふるさととの秋を感じて

【今年も紅葉間近となり】

令和七年十一月七日（金）、ふるさと双葉のもみじが色鮮やかになるには少し早い頃、令和七年度「紅葉会」が双葉郡広野町「温もりの宿双葉邸」において開催されました。



松本涼一校長先生の講話



**編集発行**  
福島県公立学校  
退職校長会双葉支部  
**発行責任者**  
小野田 敏之  
◆◆◆◆◆  
**事務局**  
〒963-8025  
福島県郡山市  
桑野5-11-18  
鈴木孝彦  
090-7063-3587

双葉郡内小・中（高）学校現職校長と退職校長会双葉支部会員との交流の場となるこの会は、まさに双葉支部存続の生命線となるものであり、双葉郡教育復興の先陣に立つ校長先生方を慰労する会でもあります。

当日は、双葉支部会員が十四名、校長会からも十四名の計二十八名が、県内各地より足を運んでいただきました。また、都合により欠席となった四十七名の会員からは、本会及び現職校長先生への励ましのメッセージを頂戴しました。

### 【学校の状況】

懇親・慰労会の前に、小野田敏之支部長、柳沼敏文双葉郡小中学校長連絡協議会会長のご挨拶をいただいた

後、楢葉中学校松本涼一校長先生より「双葉郡小中学校の今」について講話を頂戴しました。

さらに、双葉南・北小学校石井智明校長先生が、現在もいわき市での学校再開ながらも、「世界にひとつの双葉の学校」構想のもと経営にあたられている現状についてお話しくださいました。



鈴木恵一先生の乾杯挨拶

### 【懇親・慰労】

その後、昨年度まで支部長を務められた鈴木恵一先生のご発声で乾杯、懇親会に移りました。支部会員より自己紹介・近況報告を頂戴しましたが、お一人お一人

人熱が入ったためか時間が超過し、現職校長先生まで至りませんでした。ほっとしたような現職校長先生の顔、顔。これも慰労の一つかと退職会員の苦笑い。談笑の二時間があっという間に過ぎて行きました。

おいしいお酒・料理を提供していただいた双葉邸様への感謝とともに、本事務局よりも率先して会の準備をしてくださった現職校長会事務局の方々にご心よりお礼申しあげます。ありがとうございました。

### 温もりの宿



# 同好会活動

## ☆登山・ウォーキング同好会

軽登山・ハイキングクラブは、会員が四名、年七回の活動計画のもと六回の登山活動を実施しました。四名のうち三名が十数年前から相馬マウンテンクラブ（七名）との交流があり

同で実施していただきました。その経緯で今年度も相双登山クラブの名称で一緒に活動しております。活動日は土曜日です。六月〜十一月（八月を除く）、各登山口に九時集合。各自がそこへ車で向かいます。歩行時間は上り下りで約四〜五時間。三時頃には登山口へ戻ります。家族の参加も可能です。三名以上で山行実施です。同好の士の集まりなので、和気あいあいの雰囲気です。毎回の話が弾んでいます。山頂での昼食や下山後の入浴なども格別の楽しみです。登山後の写真や山行記録など

をグループラインで共有しており、提供者へはいつも感謝です。

10月〇太山山頂にて



今後の課題は、出没の恐れが大きい熊対策です。額取山では会員が遭遇し、その姿を撮影しています。万全の準備と安全な行動で楽しく山歩きを続けたいと願

### ※参考 <令和7年相双登山クラブ登山活動>

- 1 6月7日 高柴山(884m)小野町 浮金登山口 6名
- 2 6月28日 額取山(1,008m)郡山市 御霊櫃峠 3名
- 3 7月12日 日山(天王山)(1,054m)二本松市・葛尾村 田沢登山口(下) 7名
- 4 9月6日 西吾妻山(2,035m)北塩原村 天沼-ブウェイ 中止
- 5 9月27日 安達太良山(1,700m)二本松市 あだたら高原スキー場 3名
- 6 10月4日 〇太山(842m)二本松市・川俣町 大綱木登山口 3名
- 7 10月18日 霊山(825m)伊達市 霊山登山口 4名
- 8 11月8日 国見山(561m)南相馬市 高ノ倉ダム駐車場 3名

っています。また、ハイキングやウォーキングなど身近な活動も取り入れたいと考えています。会員を募集しております。一緒にアクティブウォーキングを楽しんでみませんか。『ヤッホー』

書を捨てよ野山へ出よう  
部長 庄野 富士男

## ☆ゴルフ同好会 (双球会)

今年度は、新入会員一名を加え二十四名で活動してきました。ゴルフの上手い人もそうでない人も、ゴルフ好きが集まり楽しんでいきます。四月から十一月まで月一回、年間八回のコンペを予定通り実施しました。会場は、県内外からの集まりやすさも考え、郡山周辺のゴルフ場です。毎回二十人前後の参加者があり、会員数の割には参加率が高く、盛況です。

会計 古田 研寿



ラウンド前の朝の会  
「昼は何食うかな・・・？」

月一回のコンペですが、現在の住まいや家族の状況、同僚の消息などの情報交換の場でもあります。また、体のあちこちの痛みや薬の種類、孫の世話等、お互いの近況報告でゴルフ以外の盛り上がりも見られます。毎回、珍ブレイ好ブレイ連続の双球会ですが（もちろん、珍ブレイの方が多いため）、来年度も会員の皆様と協力しながら楽しく活動したいと思っています。最後に、本会も昨今の物

〇今年度で長く事務局長を務められた遠藤弘通先生がお辞めになり、新たに佐伯哲夫先生が事務局長になります。遠藤先生大変お疲れ様でした。〇各月のコンペ結果は、民報・民友新聞に掲載されています。第二金曜日後のコンペ欄をご覧ください。※令和七年度の各月チャンピオンを次頁に記載します。

令和7年度 双球会月別優勝者・参加者(会場)

☆4月(第30回)	横山 浩志	74(HD36)	19名参加(大玉CC)
☆5月(第31回)	井戸川 浩	101(HD36)	21名参加(東都郡山CC)
☆6月(第32回)	横山 浩志	87(HD17)	15名参加(大玉CC)
☆7月(第33回)	吉田 隆見	81(HD10)	17名参加(東都郡山CC)
☆8月(第34回)	井戸川 浩	93(HD22)	20名参加(東都郡山CC)
☆9月(第35回)	庄野 富士男	82(HD9)	16名参加(大玉CC)
☆10月(第36回)	古田 研寿	91(HD21)	16名参加(東都郡山CC)
☆11月(第37回)	寺岡 弘之	92(HD15)	13名参加(大玉CC)



☆池ぼちやにわれ泣きぬれてカモとたはむる

(ネットより)

「叶えたい 歳は百までスコアは八〇まで」  
「楽しさと みじめさと 体痛さ」と

双球会



松本 浩一 氏

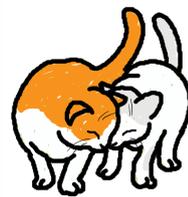
郡山市に住んで十三年が経つ。すでに地区に慣れ、今年は何内会の役員まで仰せつかり、地区行事のお世話役を務めてきた。町内会役員は月初めの土曜日に打ち合わせがあり、さらには旅行やお祭り、奉仕作業等の地区行事に出ることが要求される。こうなると時間的に制約もありなかなかゆっくりできないが、地区の方との交流もそれなりに楽しんでる。さて、この一月の町内会役員会に出たときのこと。私の住む郡山市鶴見坦地区では、ここ何年か「野良猫」が自宅の庭に「ふん」をしていき困っている話が多く出されていた。実は私の家の庭にも、何度となくよその猫が「ふん」をして



松本浩一先生

いき、その処理に辟易としていた。そこで、町内会ではNPO法人に依頼し、そういう猫の不妊処置をしたり、保護したりしてもらったりした。おかげで、ねこのふんはほとんどなくなった。私は「野良猫」がいなくなつてよかつたと思つていたら、NPO法人の方は、「これらの猫を『保護猫』と呼んでいた。決して『野良猫』とは呼ばない。同じ猫でも、立場やとらえ方によつて『野良猫』にもなり『保護猫』にもなる。こういう事つて、世の中にはいくつもあると思う。最近、世の中が世知辛くなつたせいとか、少しでも自分の考えと違つと、相手を責めるような風潮が強くなつていると感じる。特に匿名性の高いSNS上等でそれが顕著なようだ。

私自身、加齢とともに今の世の中の変化に対応できず、いらいらすることが多い。今までが正しいという考えで凝り固まつて来ているのだろう。少し立ち止まつて、相手の気持ちや立場をくみ取る寛容さを持つ「好々爺」になりたいものだ。



☆皆様の「おもい」、お待ちしております。

○四百〜五百字程度

○お写真等あれば同封添付

【郵送】双風表題下事務局へ

【Eメール】Cst-tszk@caah-net.or.jp

お悔やみ申しあげます

令和七年十月三十日、門馬孝義先生(九十二歳)が逝去なされました。

令和七年十一月五日、大河原正二先生(九十四歳)が逝去なされました。

令和八年一月八日、猪狩保先生(一〇一歳)が逝去なされました。

謹んで、御冥福をお祈り申し上げます。

令和七年度

学校訪問

令和七年十月二十九日

(水)、薄が風に揺れる秋晴れの日、令和七年度の学校訪問を行いました。支部役員四名が、午前中富岡小・中学校を午後は葛尾小・中学校を訪問させていただきました。

富岡小・中学校では、半杭千歩校長先生から学校経営の現状と課題についてのお話を伺いました。

併設型小中連携校の良さを生かした『富岡ならではの教育』の推進(小中乗り入れ授業、小中合同行事等)に取り組んでいらっしゃる事がよく理解できました。廊下ですれ違う子どもたちからも元気な挨拶をもらいました。

葛尾小・中学校では、佐藤秀敬小学校長、横田和典中学校長の両校長先生よりお話を伺いました。小規模・少人数学校だから

らこそできること、育てなければならぬことを確かに見据え、経営に取り組んでおられることが強く伝わって参りました。三春での学校再開を経てふるさと葛尾での学校教育が叶うことへの感謝とか地域全体での教育の実現をめざす姿勢を深く感じました。



富岡、半杭校長先生と

ふるさとでの学校再開は、願っていたことだけではなく、課題も出て参ります。児童・生徒数の減少が続くこと、地域に居住する教員が不足すること、特別支援体制充実の必要性等々様々な課題が残されています。これらの課題解決に向け、退職校長会双葉支部に

おいても機会あるごに関係機関に要望して参りたいと思います。



葛尾、佐藤・横田校長先生と

富岡町、葛尾村両教育委員会、校長先生をはじめ職員の皆様、今回の学校訪問を快く引き受けてくださり、誠にありがとうございます。

### 双葉郡の教育 充実を願って



### 喜寿までを 振り返って

鈴木 恵一氏



私が二十歳の時、父が四十六歳で亡くなっていて、まさか自分が喜寿を迎えられるとは思ってもおられませんでした。

教員としてのこれまでを振り返ると、振り返しは、郡山市立片平中学校。それ以降、福良中学校（一年で

湖南中学校と統合）、郡山第六中学校、福島大学教育学部附属中学校、県中教育事務所、そして、教頭として大熊中学校、浪江中学校、相双教育事務所、校長として楢葉中学校、大熊中学校、最後に浪江中学校に奉職させて頂きました。

退職と同時に、双葉支部

の庶務を青田先生から引き継ぎました。平成二十三年三月十日に理事会を開催し、四月の支部総会を迎える準備が整った翌日、まさかの東京電力福島第一原子力発電所の事故。その時は、大熊町教育委員会に週四日で勤務していましたが、大熊町が会津若松市へ全町避難するのに伴い、当時の武内教育長から河東地区への学校立ち上げの命を受け、全国、全世界からのご支援に感謝しながら、学校再開にあたりました。いつしか時が流れ、七十歳を機に退任するまで学校教育に携われたのは自分でも驚きでした。



寄せ木のトレイ、お皿、お椀、木のおもちゃ等の力作の数々

現在は、郡山市湖南町に居を構え、教員を退職する数年前に始めていた趣味の木工を再開し、木工の奥の深さに悩みながらも、色々な形の器は勿論、木軸ペンや寄せ木のトレイなどの製作に挑戦しています。

### 編集後記

○トリノ・コルティナ冬季五輪、日本の活躍に胸が躍りました。メダルに向かって諦めない、逃げない、怖じ気づかない、攻める、攻める攻める姿が眩しいです。雪を氷を削るエッジの激しい音、吹きすぎぶ風、若者たちの戦う姿が本当に素敵でうらやましいのです。若い頃には戻れないが、夢を追う若者たちにエールを送る自分に満足しています。

次はWBCだな、頑張れ日本！

○広報「松風」に、会員の庄野富士男先生が執筆された「趣味と生きがい」について玉稿が掲載されました。ぜひご覧ください。

○もうすぐ春がやって来ますね。皆様どうぞお元気で。

